

感染症情報 2月15日～21日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

| | | |
|------------|---------|------|
| ①感染性胃腸炎 | 628例(堺市 | 33例) |
| ②RSウイルス感染症 | 130例(堺市 | 1例) |
| ③溶連菌感染症 | 108例(堺市 | 8例) |
| ④突発性発疹 | 63例(堺市 | 2例) |
| ⑤咽頭結膜熱 | 26例(堺市 | 3例) |

府下インフルエンザ定点298医療機関(堺市29)から

| | | |
|---------|-------|-----|
| インフルエンザ | 6例(堺市 | 0例) |
|---------|-------|-----|

が報告された。今回は前週比1.1%増の991件であった。感染性胃腸炎は府下で前週と比べて2%増、堺市では前週21例→今回33例であった。RSウイルス感染症が府下で前週より24%増、堺市で前週0例→今回1例であった。溶連菌感染症は府下で7%減、堺市で前週5例→今回8例であった。咽頭結膜熱が府下で13%減、堺市で前週2例→今回3例であった。

インフルエンザは府下で6例(堺市で0例)の報告は、昨年同週(3,486例)に比べて大幅に少ないままである。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

| | | |
|-----|-----------|-----------------------------|
| 報告 | 2/1～2/7 | +1,354例、累計45,076例に、 |
| | 2/8～2/14 | +871例、累計45,947例に、 |
| | 2/15～2/21 | +634例、累計46,581例になっていた。 |
| 陽性率 | 2/3～2/9 | 34,649検査中、1,239件陽性、陽性率3.6%、 |
| | 2/10～2/16 | 36,923検査中、764件陽性、陽性率2.1%、 |
| | 2/17～2/23 | 33,775検査中、629件陽性、陽性率1.9% |

【堺市の推移】(陽性者数は堺市居住者のみ、陽性率は堺市以外の居住地を含む)

| | | |
|------|--|-----------------------------|
| 陽性者数 | 2/1～2/7 | +90例、累計は2,897例であった。 |
| | 2/8～2/14 | +57例、累計は2,954例であった。 |
| | 2/15～2/21 | +61例、累計は3,015例であった。 |
| | (11/23-11/29の週に堺市と大阪府で2例食い違いがある。堺市累計では2/21までに3,013例) | |
| 陽性率 | 2/4～2/10 | 2,483検査中、63件陽性、陽性率2.5%、 |
| | 2/11～2/17 | 2,470検査中、50件陽性、陽性率2.0%、 |
| | 2/18～2/24 | 2,724検査中、68件陽性、陽性率2.5%であった。 |

麻疹や風疹の報告はなかった。